



移動式ジブクレーン  
取扱い説明書

品番 JBC 1020C  
JBC 2020C

○ この度は、(株)スーパーツール のクレーンを お買い上げ頂き有難うございます。

本書は、ジブクレーンをいつまでも快適にご使用頂く為に、正しい組み立てや取扱い・簡単な保守点検について記載いたしました。

組立前に、必ず、この取扱い説明書をお読み頂き作業の能率アップにお役立て下さい。

- \*1. ご使用前に必ずよくお読みになり正しくお使い下さい。  
警告表示や注意事項を守らないで不適切な取扱をすると事故の原因となる事があります。
- \*2. お読みになった後は、取扱説明書を大切に保管して下さい。

お願い

本書は、品質改良のために変更があった場合、内容が一部変更することがありますので、ご了承下さい。

## 1. ◇危険 ご使用される前に

ジブクレーンを安全・快適にご使用頂く前に、日常の管理と次の注意事項をお守り頂き、  
末永くご愛用下さい。

1. ご使用されるホイストは、必ず、ジブクレーンの容量にあったホイストを取り付けてください。

クレーン表示容量は、**吊り上げ荷重**です。

(巻上機・吊具質量を含むクレーンに負荷できる荷重です。)

2. ジブクレーンの容量以上は、絶対に吊り上げないで下さい。
3. 荷物を吊ったままでの台車の移動は、絶対にしないで下さい。転倒し、危険です。
4. ジブクレーン使用時は、必ず、アウトリガーをいっぱいまで出し、アウトリガーねじを車輪が地面より **5mm** 位浮く位までねじでつまって下さい。
5. ジブクレーンの使用場所は、平らな場所で使用して下さい。
6. ジブクレーンを移動させる時は、アウトリガー・アウトリガーねじを浮かし、アームを折りたたみ、固定してから動かして下さい。
7. 旋回は、手動式ですので、旋回はゆっくり行い、吊り上げ時、吊り荷を無闇に揺らしたりしないで下さい。  
大きく揺らしますと容量以上の荷重が働き、アームの破損につながる場合があります。
8. 旋回範囲には、絶対に立ち入らないで下さい。
9. 使用しない時は、アームが流れない様にして下さい。
10. 絶対に改造は、しないで下さい。
11. アームは、360 度以上回転させますとホイストキャプタイヤケーブルが、切断する恐れがあります。回転する場所には、ケーブルに余裕を持たせて下さい。
12. ホイストを吊り上げたままでの溶接は、行わないで下さい。

## 警告表示の意味

⚠**危険**：取扱を誤った場合、危険な状態が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

⚠**注意**：取扱を誤った場合、危険な状態が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び、物的障害のみの発生が想定される場合。

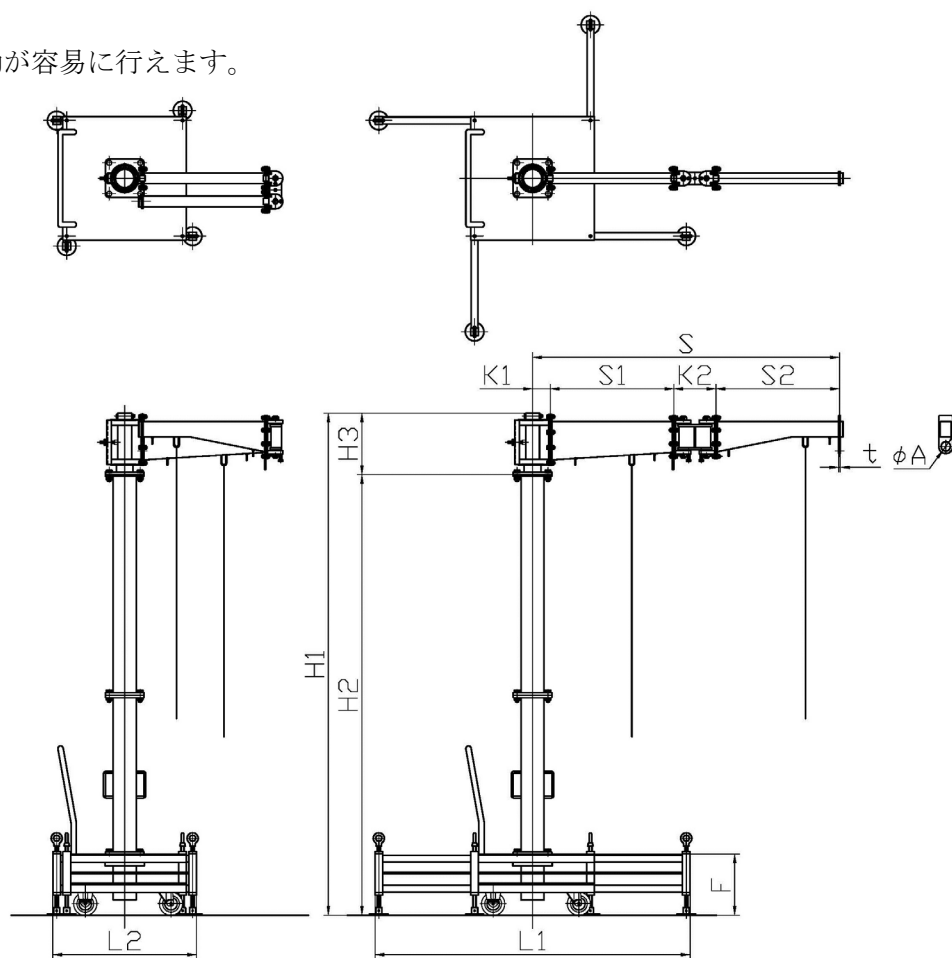
なお、**△注意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

## 用 途

- 1.機械横に設置 加工材料の取り付け・取り外しに
- 2.ベルトコンベヤー横に設置し、組み立て工程の部品・製品吊り上げ移動組み立てに
- 3.トラックよりの荷の積み下ろしに

## 特 徴

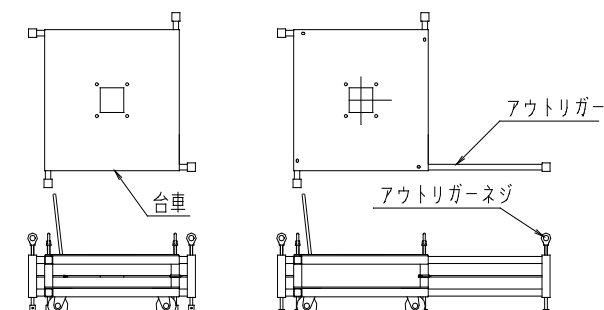
車輪付きで移動が容易に行えます。



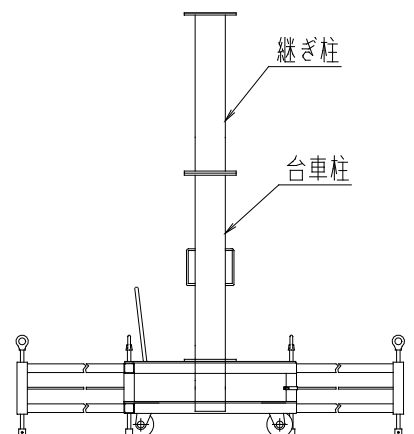
容量	L1	L2	H1	H2	H3	S	K1	S1	K2	S2	T	ΦA
200kg	2710	1200	3248	2768	480	1968	134	750	334	750	14	60
100kg	2110	1000	3258	2858	400	1968	115	800	272	800	10	60

## 組立要領

- ① 台車を安定している場所に設置します。
- ② 台車よりアウトリガーを全部引き出し、蝶ボルトで固定し、台車が水平になる様、アウトリガーねじで高さ調整して下さい。



- ③ 次に、台車が安定していることを確認して、台車柱を上部より差し込み、台車とボルトにて固定して下さい。



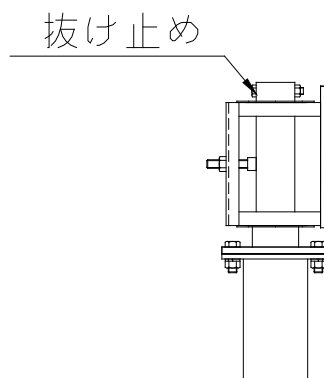
- ④ 次に回転柱と台車柱を同様にボルトで固定して下さい。

吊上げて組立する時は、必ず、抜け止めをした状態で吊上げて下さい。

△注意 1) 回転部と回転柱は、出荷時、組立てあります。

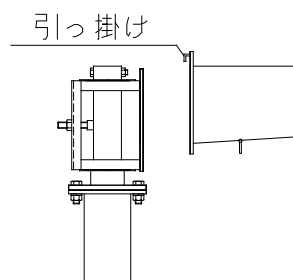
台車柱には、そのまま組み立てできます。

- 2) 組立は重量がありますので、指等を詰めない様、充分注意して行って下さい。



⑤ 次にアームの組み立てを行って下さい。

アームの組み立ては、下図の様に引っ掛けがついておりますので引っ掛け部を上にして、フランジに組み立てして下さい。



組み立ては、第1アーム・中間・第2アームの順に組み立てて下さい。

次に、ボルト・ナット・SWで締め付けて下さい。この時、フランジA・フランジBがずれない様に締めて下さい。

注 1) 使用中、トラブルが発生しない様、ボルト・ナットには、必ずスプリング座金をいれて締めて下さい。

2) フランジにずれが、生じますとアームが傾き、スムーズな動きが出来ません。

これで、組み立てが、完了しましたが、ボルト・ナットが確実に固定されているかを

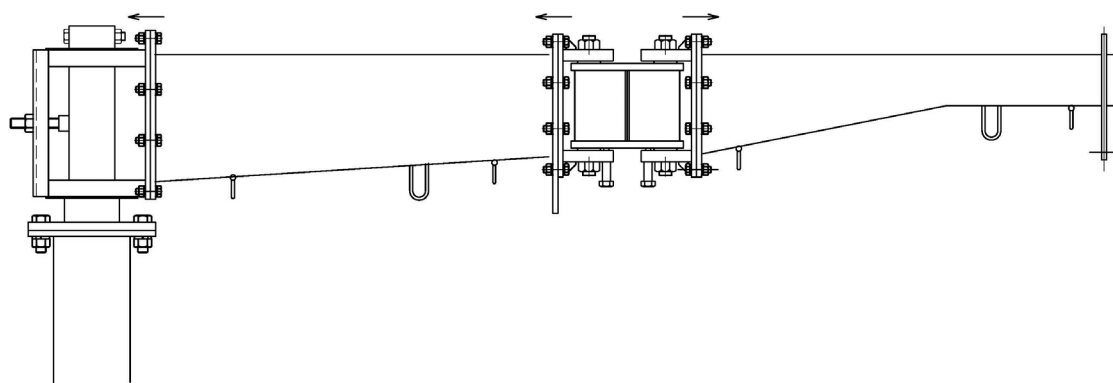
再度、確認して下さい。

### ボルトを入れる方向

中間アームにボルトを入れる時は、必ず、図の様にに入れて下さい。

反対方向から差しますと、関節部分にあたり、回らなくなります。

アームは、必ず、水平になる様に組み立て、全ブレーキを解除してアームが流れないか確認して下さい。



## ブレーキの調整

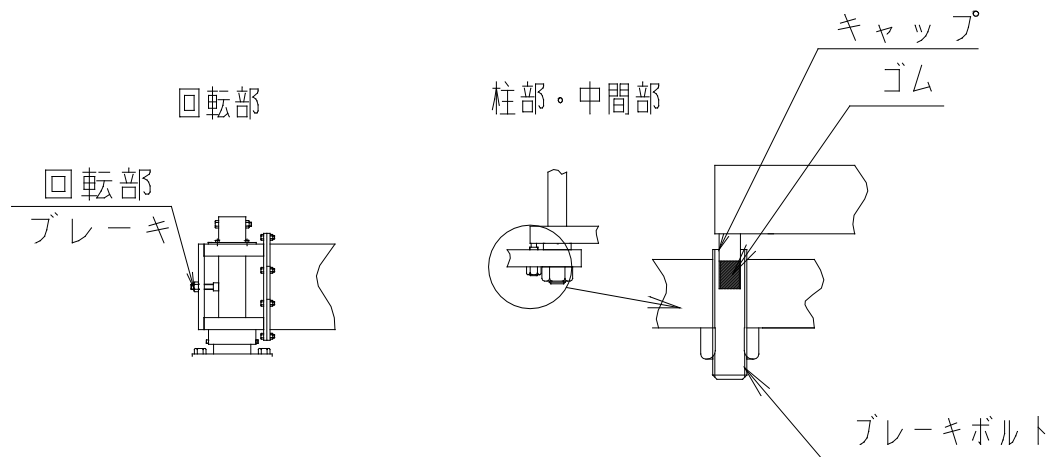
アームを旋回させ、ブレーキボルトを締め込んだり、緩めたりして調整して下さい。

注 1) 回転部ブレーキを硬めに調整し、さらに中間ブレーキを根元部分より緩めに調整しますと、アームがスムーズに動きます。

2) ボルトの調整が終わった後、緩み止め用ナットを締めて下さい。

3) ブレーキ用ゴムは、消耗品です。ブレーキが効かなくなりましたら、新品と交換して下さい。

4) 部品は、小さいものですのでなくさない様に注意して下さい。



## 注油箇所

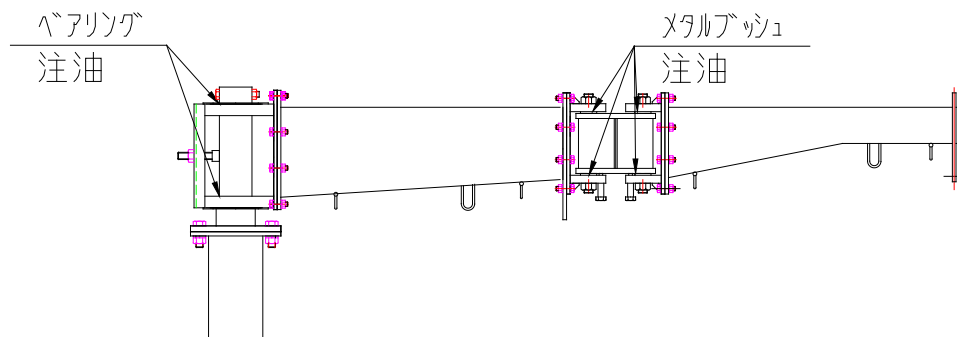
注 1) 上記部分には、目安として3ヶ月に一度注油を行って下さい。

(推奨グリス・スプレー式グリス ビスコティーン)

又、“フランジ”部には、油がつかない様にして下さい。ブレーキが効かなくなります。

2) メタルブッシュは、消耗品です。

3) ブレーキ部（回転部の中央・回転部のフランジ・中間アームのフランジ部）には、注油しないようにして下さい。



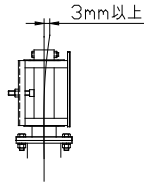
### ◇危険・使用上の注意

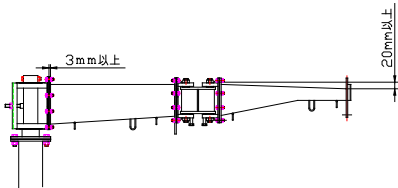
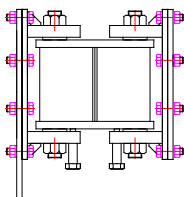
- 1) 移動する時は、必ず、アームを折りたたんで移動させて下さい。
- 2) 荷を吊ったままでの台車の移動は、しないで下さい。
- 3) 使用する時は、必ず、アウトリガーを突っ張ってご使用下さい。
- 4) 使用は、水平な場所でご使用下さい。(転倒し大事故につながります。)
- 5) 使用時は、必ず車輪を 5mm程度浮かして下さい。
- 6) 吊荷重以上の使用は、絶対にしないで下さい。転倒します。
- 7) ボルト・ナットの緩みの確認をして下さい。(マーキング等で目視確認)
- 8) 使用するチェンブロック等は、吊荷重にあった物をご使用下さい。

安全にご使用頂くために下記点検基準にそって点検しご使用下さい。

又、移動式のクレーンは、ボルト・ナットによる組立式となっておりますので  
ボルトの緩み及び脱落がないかも合わせて点検して下さい。

### 点検基準

項目	状況	点検方法	使用限界	主な不良原因	処置
回転部・回転柱	回転部に曲がりがないか	目視又は定規		オーバーロード	取替
	溶接部に異常がないか	目視又はカーチェク	溶接割れ	オーバーロード	取替
	軸受けに異常がないか	目視	軸受け破損	摩耗	取替
	フランジに曲がりがないか	目視又は定規			

項目	状況	点検方法	使用限界	主な不良原因	処置
アーム	荷を吊ったら大きく動く	目視		オーバーロード ボルト・ナットの緩み	取替
	曲がり、傷、割れがないか	目視又は定規			
	溶接部に異常がないか	目視又はカーチエック		オーバーロード	
	フランジに曲がりがないか	目視又は定規		オーバーロード	
中間部	曲がり、傷、割れがないか	目視又は定規		オーバーロード	取替
	溶接部に異常がないか	目視又はカーチエック		オーバーロード	取替
	取付けピンが曲がっていないか	目視又は定規		オーバーロード	取替
	取付けピン穴が摩耗していないか				

上記 点検の結果、異常が発生した時は、直ちに使用をやめ、  
メーカー点検を受けて下さい。







ホームページ

<http://www.supertool.co.jp/>

□本社・工場 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山 158 番地 TEL 072-236-5521(代) FAX.072-236-5785

□大阪支店 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山 158 番地 TEL 072-236-5526(代) FAX.072-236-3817

□東京支店 〒142-0041 東京都品川区戸越 3 丁目 4-18 TEL 03-5750-2341(代) FAX.03-5750-2347

ゴールドステージビル 3F

□名古屋支店 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山 1 丁目 2-4 TEL 052-323-0701(代) FAX.052-323-0720

□札幌 〒003-0029 札幌市白石区平和通 3 丁目北 4-20 TEL 011-864-3581(代) FAX.011-864-3590

□仙台 〒984-0031 宮城県仙台市若林区沖野 2 丁目 8-5 TEL 022-294-1922(代) FAX.022-285-1513

□新潟 〒950-0855 新潟市東区江南 2 丁目 6-2 TEL 025-287-5353(代) FAX.025-287-6003

□広島 〒733-0012 広島市西区中広町 2-14-27 TEL 082-293-5570(代) FAX.082-293-5531

□福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-10-23 TEL 092-431-1897(代) FAX.092-431-1909